

2014年度 バオバブ福祉会 えるで

活動部門

～メンバーの主体性を重視するととも、

障がい理解を含めた地域とのつながりを深める～

☆2013年度【行事活動】テーマ
～地域でのつながりを深めるとともに、メンバーの社会参加を促進する～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 怪我や事故なく、終えることができた。
- ・ えるでまつりやえるで展が継続して開催できている。
- ・ たくさんの地域の方やボランティアに参加してもらえた。
- ・ 他の地域の行事と重なっており、遊びに来てくれる方が少ない行事があった。
- ・ 行事日が連休の初日で渋滞に巻き込まれてしまった。
- ・ 不参加のメンバーが多い行事があった。

☆2014年度【行事活動】テーマ
～地域でのつながりを深めるとともに、メンバーの社会参加を促進する～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① 怪我や事故なく、行事を成功させる。
- ② より多くの地域の方との繋がりを作っていく。地域の方との繋がりを深めていく。
- ③ メンバーが参加したいと思える行事にし、参加率を高める。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① 通所時にバイタルチェックを行い、メンバーの体調の変化に気をつける。
準備や計画を十分に行い、怪我や事故を事前に防ぐ。
- ② 地域の方に参加してもらえる行事を継続する。
初めてえるでの行事に参加して下さった地域の方を大切にし、継続して遊びに来てもらえるよう呼びかけていく。
- ③ メンバーが楽しめるような内容を考えていく。体調面を気にされ行事を休むメンバーもいるので、場所や時間帯も配慮する。
不参加の希望をしているメンバーにもう一度声をかけ、参加を促す。

☆2013年度【ボランティア】テーマ
～えるでの活動に日常的に参加できるボランティアをえるでから積極的に募集して育てていく～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 関係が定着している方々は、今年度もいろいろと参加して頂けた
- ・ 地域イベントに積極的に参加して、関係を保つことが出来た
- ・ Vリーグの参加で、幅広いボランティアの声かけは出来た
- ・ 実習で来られた方で、2名ボランティアに参加して頂けた
- ・ 新しいボランティアの方が、今年も少なかった。

☆2014年度【ボランティア】テーマ
～えるでの活動に日常的に参加できるボランティアをえるでから積極的に募集して育てていく～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① 根付いているボランティアとの関係の維持・向上
- ② 地域住民との幅広い交流
- ③ 新規ボランティアの開拓

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① 見学や実習は、メンバー、スタッフの負担を考慮して、可能な限り受け入れる
- ② 地域からの協力依頼は、内容により可能な限りメンバーと一緒に応える
- ③ 後援会と連携した地域イベントの開催
- ④ Vリーグへの継続参加
- ⑤ 実習生に、ボランティア登録の要請

☆2013年度【実習生・見学受け入れ、講師派遣】テーマ
～地域とのつながりをより深める場として捉え、障がい理解を求めていく～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと、課題として残ったこと。）

- ・ のべ約800名に対し実習・見学の受け入れや、講師派遣をおこなった。
- ・ 実習や見学を通じて、えるでの活動を知ってもらう機会となった。
- ・ 介護等体験の実習後、えるでの行事ボランティアで数名の参加があった。
- ・ 障害のある学生の実習では、メンバーやスタッフとのかかわりを持ち、作業等の体験の場を提供できた。
- ・ 実習・見学日程が重なる時期があり、作業スペースや実習内容等を考慮する必要があった。

☆2014年度【実習生・見学受け入れ、講師派遣】テーマ
～地域とのつながりをより深める場として捉え、障がい理解をもとめていく～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① 地域の学校の見学や実習については、えるでの活動を知ってもらい、障がいのある人との出会いの場とする。
- ② 障がいのある学生の実習では、メンバーやスタッフとのかかわりを持ち、様々な活動や作業の体験の場を提供する。
- ③ 介護等体験や教員の初任研などの実習においては、メンバーの安全を第一にし、介護等の体験の場を提供する。また、実習を通じて、えるでの活動を知ってもらい、障がいのある人との出会いの場となるようにする。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① メンバーとのかかわりを大事にし、よりわかりやすい説明や対応をこころがける。
- ② 事前の打ち合わせをしっかりと、活動内容や場所を考慮し、スムーズに活動に参加できるように、支援していく。
- ③ メンバーの身体介護にかかわる実習は、事前に十分な説明をし、必ずスタッフが立ちあい、安全に行う。
メンバーとのかかわりを大事にし、コミュニケーションをうながす。

○活動部門 【地域内支援】

担当（作成）者 【平井→小野】

☆2013年度【地域内支援】テーマ

～地域でのメンバーの生活を、より快適に過ごせるよう周りの理解を深めてゆくとともに、メンバーの社会性を育む～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 家からえるでまでの行き帰りの途中の道で、ルールやマナーを守れていないことがあった。
- ・ えるでがお休みの日に、トラブルを起こしてしまう事があった。
- ・ 家からえるでまでの行き帰りの途中の道や、外部作業のそうじ先などで、メンバーが中傷されたりすることがあった。
- ・ メンバーが療育手帳を落としてしまうという事があったが、ご近所の方が拾って下さり、自宅まで届けて下さった。

☆2014年度【地域内支援】テーマ

～地域でのメンバーの生活を、より快適に過ごせるよう周りの理解を深めてゆくとともに、メンバーの社会性を育む～

- ① ・ 通所、退所時や、えるでの活動時間以外でも、社会的なルールやマナーを守る。
- ② ・ 外部での作業中や、通所、退所時、そのほかの場合にも、トラブルに巻き込まれないように配慮してゆく。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① ・ 社会的なルールやマナーを守れるよう、通所、退所時に見守りするとともに、日々声かけしてゆく。
- ② ・ 通所、退所時は、トラブルに巻き込まれないようできるだけ見守りする。
- ・ 外部作業先などで、トラブル等あった際は、周りの理解や協力を求められるよう、関係を大切にしておく。
- ・ トラブル等あった際は、家庭に報告し、家庭でも近所の方とネットワークを持ってもらえるよう、協力をお願いする。

○活動部門 【広報活動】

担当（作成）者 【平井→藤元】

☆2013年度【広報活動】テーマ

～地域とのつながりを大切にし、新たな形での広報活動を模索する～

☆2013年度をふりかえって（成果が出たこと。課題として残ったこと。）

- ・ 昨年の計画通りに、年4回、バオバブ福祉会便りを発行することが出来た。
- ・ えるでのホームページの担当を据えて引き継ぎを行い、ホームページの更新ができるようになった。
- ・ 福祉会便りの新しい配布先を開拓できなかった。

☆2014年度【広報活動】テーマ

～地域とのつながりを大切にし、新たな形での広報活動を模索する～

☆2014年度テーマを達成するための重点課題

- ① ・ バオバブネットワーク通信の発行をスムーズにする。
- ② ・ ホームページを更新する。
- ③ ・ より地域との繋がりを深められるよう、バオバブ福祉会便りの配布先や、配布する
- ④ ・ ホームページを多くの方に見てもらおう為に、スマートフォンからの閲覧がスムーズに行えるようにする。

☆2014年度重点課題を達成するための具体的な方策

- ① ・ 計画的に取り組んで、必要な時には事務の時間を作って取り組んでゆく。
- ② ・ バオバブネットワーク通信と連携させる形で、ホームページの更新も取り組んでゆく
- ③ ・ バオバブ福祉会便りの配布の際には、今まで以上に各学校や、施設などの会議など
- ④ ・ スマートフォン対応に変更できるよう、必要な手順を習得する。